

年の初めに防火意識を新たに

弟子屈消防・川湯消防の出初式



はしご乗りの妙技を披露(川湯消防)



観閲を行う徳永組長(町長)(弟子屈消防)

釧路管内のトップを切って、弟子屈消防の出初式が1月4日、弟子屈消防署前で行われました。消防力の充実・強化と、消防職員の士気高揚を目的に、毎年開催されています。式には、消防職員や来賓、関係者など約100人が出席。消防署前で観閲式や、消防団ラッパ隊による吹奏が行われました。消防隊の勇姿に、見物に訪れた町民からも拍手が贈られていました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰も行われました。

川湯消防出初式は1月6日、川湯消防庁舎前で行われました。式には、消防職員や来賓、関係者など約50人が出席し、恒例のはしご乗りなどが行われました。はしご乗りでは、7歳の竹はしごの上でそろいの法被を着た職団員が華麗な技を披露。見物していた皆さんからの声援と拍手が送られました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火意識を新たにしました。

年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火意識を新たにしました。

町の話



町の話



出席者全員で記念撮影

大人としての新たな一歩喜ぶ

第70回弟子屈町成人式



交通安全宣言を行う沢崎晃輔さん(右)

記念品を受け取る松岡江梨香さん(右)

記念品を受け取る濱岡浩平さん(右)

第70回弟子屈町成人式が1月7日、町公民館講堂で行われました。今年、町内で成人を迎えたのは66人。式典にはそのうちの53人が出席しました。華やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んで出席した新成人は、友人との再会や大人としての出発を喜び合っていました。

式典では、新成人を代表して上西大地さんと羽田菜々子さんが「一社会人として、向上心をもって成長していきたい」と誓いのことばを読み上げたほか、沢崎晃輔さんが弟子屈警察署の長原志郎地域・交通課長を前に、交通安全宣言を行いました。

式典に続き、ユースフルネットワークてしかが(会長)が中心となつて祝賀会を開催。豪華な景品を指したゲームなどが行われ、新成人の皆さんが楽しんでいました。

友人と喜びを分かち合う新成人たち

放課後児童クラブ入会申請の受け付けを始めます

受付期間 / 2月5日(月)～3月5日(月)

放課後児童クラブは、放課後、仕事などで保護者の方が家にいないご家庭の小学生を対象に「遊び」「生活」の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的に運営されています。

放課後児童クラブに入会するには

放課後児童クラブに入会を希望する方は、次の書類を役場福祉こども課か子育て支援センター、入会を希望する放課後児童クラブに提出してください。

- 児童クラブ入会申請書
- 児童クラブ等個人調書
- 勤務証明書(父・母分)

申請・登録されないとクラブを利用することができません。

希望するクラブの定員を超過する場合は、利用するクラブを調整させていただきます。

※書類は役場福祉こども課、子育て支援センター、各放課後児童クラブにあるほか、町公式ウェブサイト(<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>)からもダウンロードできます。

入会が決定したら

入会決定通知書を送付します。

入会決定後、スポーツ安全保険に加入していただきます。保険料(800円・1年間掛け捨て)の納付をお願いします。

▶放課後児童クラブ

- みはらしクラブ 高栄4丁目6-1(みはらし台こども館 ☎482-3176)
- げんきクラブ 中央3丁目11-25(東部こども館 ☎482-3944)
- 風の子クラブ 鈴蘭4丁目7-11(すずらんこども館 ☎482-3943)
- わんぱくクラブ 川湯温泉4丁目15-5(川湯青少年会館 ☎483-2720)

問い合わせ先 / 役場福祉こども課子育て推進係 ☎482-5667(直通)

災害に備えて防災備蓄品の整備

防災ワンポイントコーナー

町では、災害に備えて防災機材および食料などの備蓄を進めています。昨年12月12日に(一社)北海道LPガス協会釧路支部弟子屈分会(上村保範分会長)からポータブルガス発電機1機の寄贈を受けました。同協会とは2010年11月、被災場所でのLPガスの応急復旧や設備工事を行うなどの『災害発生時における応急・復旧活動の支援に関する協定』を締結していて、2012年12月から2016年6月までに、カセットガスストーブ100台、ハイカロリーコンロ5台とポータブルガス発電機2機の寄贈を受けています。

今回寄贈を受けた発電機は、昨年6月に寄贈を受けた機材と同様のもの。重さ約20kgと持ち運びが容易、LPガスさえあればどこでも発電可能です。一般家庭で通常必要とする電力を確保できるので、会館などの小規模避難所などでの非常用電源として適しています。この発電機は昨年6月の釧路川水防演習や同8月の北海道消防大会における非常電源としても活用しました。

贈呈式で徳永町長は「平成28年8月の台風11号では、ライフラインが大きな被害を受け、避難所も開設しました。本町は、直下型地震の発生確率が非常に高い地域であるとともに、常時観測火山アトサヌプリ(硫黄山)の噴火や暴風雪の可能性も高く、避難所における防災機材の備蓄は大変重要です。寄贈いただき深く感謝します」とあいさつしました。寄贈した上村分会長は、「災害は、いつ起こるかかわからない。カセットガスストーブは停電時でも使うことができる。ポータブルガス発電機は、防災訓練など、あらゆる場面で有意義に使用していただければと思います。LPガス協会は、災害時には直ちに出勤できる体制を取っているの、いつでも協力を惜しみません」と述べていました。



今回寄贈を受けたポータブルガス発電機

問い合わせ先 / 役場総務課防災情報係 ☎482-2912(課直通)